

**平成 31 年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和元年 12 月
海老名市立海西中学校**

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語, 算数・数学, 英語)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

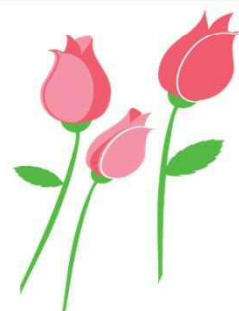
- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例)国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

調査実施日

平成 31 年4月 18 日(木)



中学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ
- ・文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える
- ・文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考え方をもち
- ・封筒の書き方を理解して書く
- ・話合いの話題や方向を捉える
- ・相手に分かりやすく伝わる表現について理解する
- ・話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ
- ・書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する
- ・伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く
- ・語の一部を省いた表現について、語や文章の中での適切な活用の仕方を理解する

本校の調査結果

◆比較的できている点

「読むこと」の領域における、内容理解の能力に優れています。

設問2一や2二で問われた、話し合いの流れを捉え内容を読み取る力が特に優れています。

◆課題のある点

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域における、語彙の知識、活用に努力を要します。

伝統的な言語文化と国語の特質とは、古文などの伝統的な言語文化、言葉の特徴やきまり、漢字に関する事項のことを指します。この項目に関する「語の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する」設問と「封筒の書き方を理解して書く」設問の正答率にばらつきがありました。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 「語の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する」項目については、慣用句やことわざなど、語彙に関する知識を増やす取り組みが必要だと考えます。これまで取り組んできた、教科書に使われている単語の意味調べに加え、身近な文章から慣用句やことわざ、単語を集めるような課題を設定します。そして得た知識を活用し、自分で文章を書く際に正しい使い方ができるようになることを目指します。
- 「封筒の書き方を理解して書く」項目については、正しい知識を身につけることができるよう適切な課題と指導を考えていきます。封筒の書き方に合わせて、ハガキの書き方やお礼状の書き方など、生活していく上で必要な知識を定着するための課題を設定します。

中学校 数学

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・数の集合と四則計算の可能性について理解している
- ・簡単な連立二元一次方程式を解くことができる
- ・平行移動の意味を理解している
- ・反比例の表から、 x と y の関係を式で表すことができる
- ・簡単な場合について、確率を求めることができる
- ・グラフ上の点 P の y 座標と点 Q の y 座標の差を、事象に即して解釈することができる
- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる
- ・証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している
- ・反例の意味を理解している
- ・結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる
- ・資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる
- ・資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる
- ・問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができる
- ・与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる
- ・事柄が成り立つ理由を説明することができる
- ・統合的、発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができる

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 簡単な連立二元一次方程式を解くことに優れています。
- 資料を整理した表から最頻値を読み取ることによって優れています。

◆課題のある点

- 数の集合と四則計算の可能性についての理解に課題があります。
- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 少人数授業を、3年前から習熟度別で行っています。習熟度別授業のあり方をさらに研究し、より効果的な授業が展開できるよう進めていきます。
- 計算技能を習得させることだけに力点をおかず、それぞれの計算の意味や原理を確実に理解させ、具体的な問題場面で式を活用できるよう指導していきます。
- 関数関係への理解を一層深めるとともに、具体的な事象の中から関数関係を見だし考察する能力が高められるよう指導していきます。

中学校 英語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができる
- ・教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる
- ・日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる
- ・まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができる
- ・まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することができる
- ・聞いて把握した内容について、適切に応じることができる
- ・日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる
- ・まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる
- ・まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる
- ・書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる
- ・文の中で適切に接続詞を用いることができる
- ・一般動詞の2人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことができる
- ・一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる
- ・与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる
- ・与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができる
- ・与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる
- ・月日に関する基本的な表現を理解して、応答することができる
- ・基本的な文法（現在進行形）を理解して、応答することができる
- ・適切に強勢を置き、交通手段に関する基本的な表現を理解して、応答することができる
- ・聞いて把握した内容について、やり取りすることができる
- ・与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができる

本校の調査結果

◆比較的にできている点

○日常的な話題について、情報を正確に聞き取る力や、簡単な文で書かれたものの内容を、正しく読み取る力が身についています。また、ある程度まとまりのある身近な話題についても、概要をとらえることや必要な情報を理解することができます。

○話すことについては、ミスはあるものの、コミュニケーションに前向きで積極的な姿勢が身についています。ある程度まとまりのある内容も、意欲的に表現しようとすることができました。

◆課題のある点

○代名詞や過去形、三人称単数現在などの、内容に応じて適切な動詞の活用形を正しく使うことや課題があります。

○長い説明文を読み取ることや、根拠や理由を示して具体的に説明する、まとまりのある自己表現を行うことに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

○会話の意図や流れにふさわしい文の形式や時制を考えながら、状況に応じた表現を使ったり、相手に説明したりできるよう、体験的な練習をしていきます。

○教科書以外の様々な題材も扱い、より多くの英語に触れて語彙力をつけるとともに、自分なりの考えをまとめる力や、相手に伝える力を身につけることを目指します。

生徒質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

○対話的で深い学びをしています。

「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていると思いますか」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合は、86.3%で、全国比+14ポイントと、大きく上回っています。長年、本校が取り組んできた「グループワーク」「言語活動」等を取り入れた授業の成果が確実に現れていると考えます。

◆本校の課題と思われるところ

○自分で計画を立てて学習できる力を身につけましょう。

「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問では、「している」「どちらかといえばしている」と答えた生徒の割合は、46.3%で、全国比 4.1 ポイント下回っています。自分で計画を立てるためには、自分のことを客観的に見つめる必要があります。それは主体的な学びにもつながるものと考えます。

生活について

◆本校のよかったところ

○楽しい学校生活を送っています。

「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合は、85.6%で、全国比 3.7 ポイント上回っています。「安全、安心で楽しい学校生活」は、すべての教育活動の根幹であるという認識を持ち、さらに楽しく充実した学校生活を送ることができるよう努力していきます。

◆本校の課題と思われるところ

○将来の夢や目標が、まだはっきりとしていないようです。

「将来の夢や目標を持っていますか」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合は、56.9%で、全国比-13.6ポイントと大きく下回っています。

2学年で実施している「職場体験学習」、3学年での「進路学習」を通じ、自分の将来の夢や目標について、より具体的に考えていけるような取組を続けていきます。

今後の具体的な取組について

○『海西中の心』(「挨拶」「時間」「約束」「思いやり」)を今後も、あらゆる教育活動において、意識し、大切にしながら取り組んでいきます。

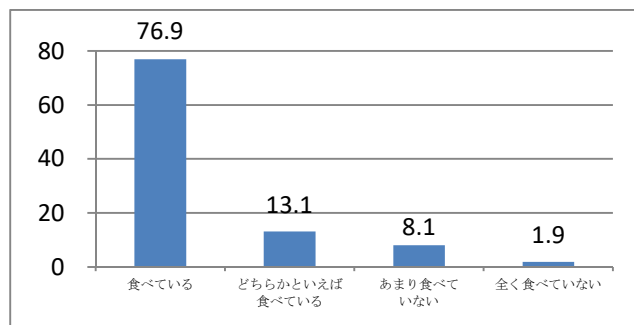
○新学習指導要領に定められた、「主体的・対話的で深い学び」の具現化に向け、本校が長年にわたり取り組んできた、各教科等における「グループワーク」や「言語活動」をさらに充実・深化させていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成 31 年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

1 朝ごはんは毎日食べましょう。

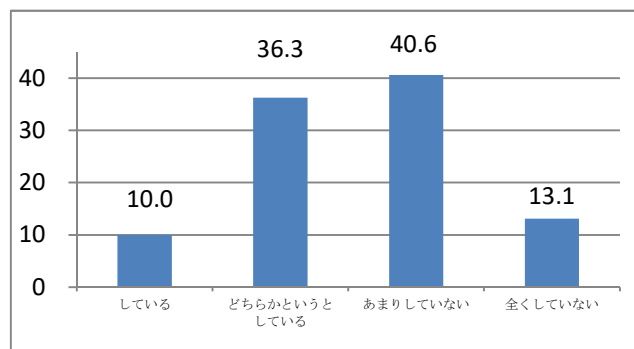
朝食を抜くことにより体温が上がらず、物事に集中できない、イライラするなど、心身の不調につながるものが、科学的にも証明されています。



朝食を毎日食べていますか

2 計画を立てて学習しましょう。

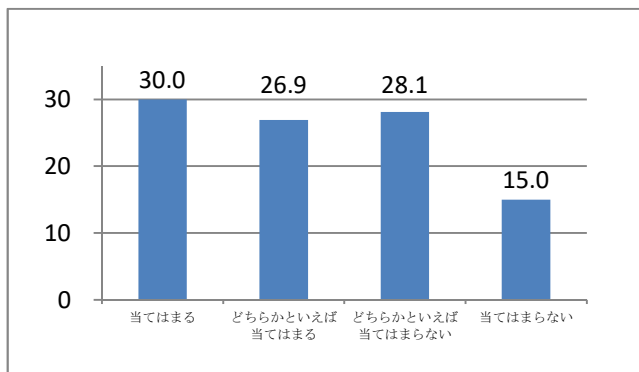
自分で学習計画を立てることは、自分自身を見つめることにもつながります。自分だけの「学習 PDCA サイクル」を確立できるようにしましょう。



家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

3 将来の夢や目標について語る機会をつくりましょう。

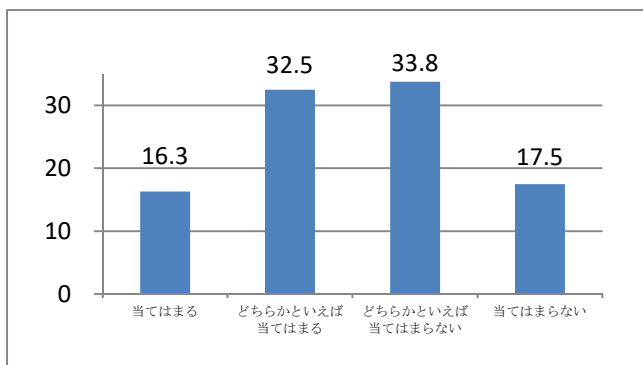
学校で実施する、職場体験学習などのキャリア教育などに合わせ、家族や友だちと将来の夢や目標等について、語り合う機会を持ちましょう。



将来の夢や目標を持っていますか

4 地域の行事等に参加しましょう。

本校生徒は、県内平均に比べ、積極的に参加している現状がうかがえます。(全県比+5.9ポイント)
学校・家庭・地域が連携し、地域の行事等の周知や参加をさらに積極的にすすめていきましょう。



今住んでいる地域の行事に参加していますか

資料 学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【学 校 生 活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【基本的生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。
全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様により市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係